

海外短期研修(カナダ)参加レポート

文学部コミュニケーション学科 2 年

私は英語力向上、異文化体験、自分自身を成長させることを目的として、この短期留学へ行くことを決めました。短期留学を終えた今、この 1 つ 1 つを振り返っていきたいと思います。

初めに英語力向上に関してです。結論として英語力を向上することができたと感じています。1 週間目は慣れない英語に慣れようと必死に耳を傾けていました。現地の人たちの会話は難しい単語を使っていたり、スピードも早かったりと、何を言っているのか聞き取れないことも多々ありました。しかし、ホストファミリーや学校での授業を通して英語のみで会話をする環境に慣れていき、自然と耳が英語を受け入れていくようになりました。

また、今回の留学で、語学を向上させるためには積極性が最も重要であると感じました。自分から現地の人と積極的に会話を行うことで、日本の授業で学ぶことがなかった生の英語をより多く聞くことができました。お店の人と注文をする時に使う英語文だけでなく、ちょっとした雑談で話が盛り上がった時はとても嬉しかったのを覚えています。



2 つ目に異文化体験です。私はカナダで様々な「初めて」を経験することができました。特に印象に残っているのは生活スタイルの違いです。日本に比べてビクトリアの朝は早く、夜も早いと感じました。休日でも朝の 7 時には起床し、家事や趣味の時間に当て、ほとんどのお店が 18 時には閉店していました。また、ファミリーデーと言って家族との時間を大切にする祝日があり、その日にはたくさんのお店が閉店していました。日本では夕方であっても開いているお店が多く、祝日でもお店の利益のために営業しているお店が多いですが、ビクトリアでは営業時間がとても短く感じられました。家族との時間を大切にすることができるようになっていてとても素敵だと思いました。



次に印象に残っているのが「人と人のコミュニケーション」についてです。私はカナダの方はとても優しい人が多いと感じました。知り合いでなくても困っている人がいれば何かあったの？と声をかけ、解決策を探してくれたり、街中で初対面の人とも楽しく会話をしていたり、コミュニケーションに関して気楽にできる国だと思います。カフェに行った際に隣に座っていた方が「How are you?」「Where are you from?」と話しかけてくれた時がありました。日本人であることを伝えると「こんにちは」と日本語を使って挨拶してくれ、とても嬉しかったです。様々な国籍の方が暮らしていることもあり、色々な人と会話するのが楽しかったです。

最後は自分自身の成長に関してです。今までの私は自分で物事を決断することをせず、人に流されてしまうことが多い人間でした。自分で決断をした後に後悔することが怖かったからです。しかし今回の留学を通して、自分の意思や気持ちをはっきりと伝えること、決断をしなければ何も進まないことを学びました。今回の短期留学は私にとって挑戦でした。日本語の通じない場所で 1 ヶ月過ごすというのは不安なものであり、本当に自分に乗り越えることができるのだろうか何度も心配になりました。しかし、今振り返ってみるとこの短期留学へ行く決断をした自分にありがとう伝えたいです。現地で様々な人と触れ合い、様々な「初めて」を体験し、確実に実りのある 1 ヶ月を過ごすことができました。この経験は私にとって一生の宝物になると思います。もし短期留学をするか迷って、この体験記を読んでいる人がいるのなら、絶対に行って欲しいと思います。私は今回の短期留学を通して何百という自分にとってプラスとなる経験を得ることができました。今回学んだ「決断をしなければ何も始まらない」という気持ちを大切にして、これからの生活も失敗を恐れずに挑戦していきたいと思います。

